

## 福島県県民健康管理調査「基本調査（外部被ばく線量の推計）、甲状腺検査」の概要について

福島県「県民健康管理調査」検討委員会  
平成23年12月13日

福島県では、東京電力福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、長期にわたり県民の健康を見守り、将来にわたる健康の維持、増進につなげていくため、「県民健康管理調査」を行っております。

調査は、「基本調査」と「詳細調査」に分けて行います。

基本調査では、個々人の外部被ばく線量を推計するため、3月11日以降の、全県民の行動を把握するための調査を実施しており、詳細調査として、震災当時概ね18歳以下の県民を対象とした甲状腺超音波検査、避難区域等の県民を対象として、検査項目を拡充しての健康診査を実施するほか、妊産婦や生活習慣やこころの健康度に関する質問紙調査に取り組むこととしております。

### 1 基本調査（外部被ばく線量の推計）

#### (1) 基本調査回収状況（平成23年11月30日現在）

調査対象者数 2,057,053名 発送済数 2,042,058通  
回収数 371,039通（回収率18.0%）

内、先行調査地域（川俣町（山木屋地区）、浪江町、飯舘村）

調査対象者数 29,103名 発送済数 29,048通  
回収数 14,324通（回収率49.2%）

#### (2) 外部被ばく線量の推計結果（詳細；別添のとおり）

- ① 県民健康管理調査「基本調査」では、平成23年3月11日から7月11日までの県民の行動を把握し、（独）放射線医学総合研究所の開発システムを用いて4か月間における外部被ばくによる累積線量の推計を行う。
- ② 今回、上記先行調査地域（川俣町（山木屋地区）、浪江町、飯舘村）のうち、1,727名についての推計結果をまとめた。
- ③ 放射線業務従事経験者（138名）を除く1,589名の累積被ばく線量
  - 1ミリシーベルト未満 998名（62.8%）
  - 5ミリシーベルト未満 1,547名（97.4%）
  - 10ミリシーベルト未満 1,585名（99.7%）
  - 10ミリシーベルト超は4名で、最大は14.5ミリシーベルト（1名）
- ※20歳未満（311名）の状況
  - 1ミリシーベルト未満 193名（62.1%）、3ミリシーベルト未満 293名（94.2%）
  - 5ミリシーベルト未満 304名（97.7%）で全員が10ミリシーベルト未満
- ④ 放射線業務従事経験者を含む全数（1,727名）の線量
  - 1ミリシーベルト未満 1,084名（62.8%）
  - 5ミリシーベルト未満 1,675名（97.0%）
  - 10ミリシーベルト未満 1,718名（99.5%）で最大は37.4ミリシーベルト（1名）

⑤ 評価

これまでの疫学調査によれば、100ミリシーベルト以下での健康影響評価は確認されていない。今回の4か月間の外部被ばく線量の推計値は、1,727名の結果であるが、一般の方は15ミリシーベルト未満であったこと、また、(独)放射線医学総合研究所による試算によれば、空間線量が高い地区に居住した場合でも、20ミリシーベルト未満となったことから、これにより放射線による健康影響があるとは考えにくい。

いずれにしても、今後しっかりと健康管理を進めてまいりたい。

なお、外部被ばく線量は、個人ごとの行動により、その推計値が異なることから、県民の皆さんに、基本調査に回答、活用して、自らの外部被ばく線量を確認するよう、あらためてお願いしてまいりたい。

2 甲状腺超音波検査

(1) 対象者

平成23年3月11日時点で18歳までの全県民

具体的には平成4年4月2日から平成23年4月1日までに生まれた県内居住者（県外避難者を含む）

※ 平成26年度以降は、平成4年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた県内居住者（県外避難者を含む）

(2) 実施計画

福島県立医科大学（以下「医科大学」という）、県内外の医療機関等が連携して甲状腺超音波検査を実施する。

また検査の結果、結節性病変（しこり）等が認められた場合は、医科大学附属病院等において二次検査（精密な超音波検査、血液検査、尿検査等）を行う。

○これまでの検査実施状況（平成23年12月 9日現在）

検査済者数11,534名

# 避難行動のモデルケース別の外部被ばく線量の試算

(独)放射線医学総合研究所による避難行動のモデルケース別の外部被ばくによる累積被ばく線量の試算では、  
 ①20 km圏内から避難した住民の外部被ばくによる累積被ばく線量は、実効線量で数ミリシーベルト以下、  
 ②計画的避難区域から避難した住民の外部被ばくによる累積被ばく線量は、実効線量で20 ミリシーベルト以下、  
 となった。

## 20km圏内からの避難

## 計画的避難区域からの避難

20km圏内からの避難			計画的避難区域からの避難				
行動パターン	線量値 (mSv)	行動パターン	線量値 (mSv)	行動パターン	線量値 (mSv)		
1 富岡町	3月11日富岡町役場。 3月12日川内村役場に6時までに移動。 3月16日ビッグパレットふくしまに10時から移動。	6 檜葉町	0.25	13 浪江町	4.8		
	町内で避難開始までの線量が最大になる領域から避難の場合。					町内で避難開始までの線量が最大になる領域から避難の場合	町内の計画的避難区域内で避難開始までの線量が最大になる領域からの避難の場合
2 大熊町	3月11日大熊町役場。 3月12日船引就業改善センターに13時に移動。	7 浪江町	2.0	14 葛尾村	0.84		
	町内で避難開始までの線量が最大になる領域から避難の場合					町内で避難開始までの線量が最大になる領域から避難の場合	村内で避難開始までの線量が最大になる領域から避難の場合
3 双葉町	3月11日双葉町役場。 3月12日川俣小学校に8時に移動。 3月19日さいたまスーパーアリーナに10時から移動。	8 田村市	0.77	15 飯館村	5.5		
	3月31日旧県立騎西高校に10時から移動。					3月11日田村市(*)。 3月12日デンソー東日本に8時までに移動。 3月31日ビッグパレットふくしまに10時から移動。 (*)20km圏内の最大線量領域を仮定	3月11日飯館村役場。 5月29日福島市役所飯野支所に10時から移動。
	町内で避難開始までの線量が最大になる領域から避難の場合					3月11日南相馬市(*)。 3月15日伊達市役所に10時から移動。 3月31日あづま総合体育館に10時から移動。 (*)20km圏内の最大線量領域を仮定	村内で避難開始までの線量が最大になる領域から避難の場合
4 双葉町	3月11日双葉町役場。 3月12日一号機の水素爆発に伴い川俣小学校に16時から移動。 3月19日さいたまスーパーアリーナに10時から移動。	9 南相馬市	1.5	16 飯館村	6.2		
	3月31日旧県立騎西高校に10時から移動。					3月11日広野町(*)。 3月12日小野町役場に8時に移動。 (*)20km圏内の最大線量領域を仮定	3月11日飯館村役場。 6月21日福島市役所飯野支所に10時から移動。
	町内で避難開始までの線量が最大になる領域から避難の場合					3月11日川内村(*)。 3月13日川内村小学校に10時から移動。 3月16日ビッグパレットふくしまに10時から移動。 (*)20km圏内の最大線量領域を仮定	村内で避難開始までの線量が最大になる領域から避難の場合
	3月11日双葉町役場。 3月12日一号機の水素爆発に伴い川俣小学校に16時から移動。 3月19日さいたまスーパーアリーナに10時から移動。					3月11日川俣市(*)。 3月12日小野町役場に8時に移動。 (*)20km圏内の最大線量領域を仮定	3月11日南相馬市(*)。 5月20日南相馬市役所に10時から移動。 (*)計画的避難区域内の最大線量領域を仮定
5 檜葉町	3月11日檜葉町役場。 3月12日いわき市役所に13時に移動。 3月31日船引就業改善センターに10時から移動。	10 広野町	0.18	17 南相馬市	1.8		
	町内で避難開始までの線量が最大になる領域から避難の場合					3月11日川俣市(*)。 3月12日小野町役場に8時に移動。 (*)20km圏内の最大線量領域を仮定	3月11日川俣町山木屋地区(*)。 6月1日川俣町役場に10時から移動。 (*)計画的避難区域内の最大線量領域を仮定
	3月11日檜葉町役場。 3月12日いわき市役所に13時に移動。 3月31日船引就業改善センターに10時から移動。					3月11日川内村(*)。 3月13日川内村小学校に10時から移動。 3月16日ビッグパレットふくしまに10時から移動。 (*)20km圏内の最大線量領域を仮定	3月11日川俣市(*)。 3月12日小野町役場に8時に移動。 (*)20km圏内の最大線量領域を仮定
5 檜葉町	3月11日檜葉町役場。 3月12日いわき市役所に13時に移動。 3月31日船引就業改善センターに10時から移動。	11 川内村	0.74	18 川俣村山木屋地区	3.0		
	町内で避難開始までの線量が最大になる領域から避難の場合					3月11日葛尾村(*)。 3月14日あづま総合体育館に10時から移動。 (*)20km圏内の最大線量領域を仮定	